



熊本市立 大江小学校

ときめき

2024.5.31 (金)

No. 35

文責
松永



今年も充実した水泳学習ができますように！

その① 6年生がプール掃除をがんばってくれました

5月末に6年生の手でプール掃除が行われました。6月から始まる水泳学習に向けた準備のスタートになります。昨夏から使っていないプールの掃除は、なかなか大変です。プール掃除の日は、曇り空で寒くないかな？と心配しましたが、デッキブラシやたわしを手に、一生懸命に作業をしていると、気にならなかつたそうです。こすって落とした汚れを、バケツやホースを使って流していきます。「ここがまだだよ」

「水かけるよ！」そんな声をお互いにかけていながら、作業を進めていました。さすが最上級生の子どもたちです。自分の役割を果たそうとがんばる姿を見て、頼もしく感じました。2学級ずつに分かれ、2時間をかけて力を合わせて取り組んでくれたおかげで、きれいな底面が見えてきました。ご苦労様でした。



その② 先生たちで緊急時の対応（心肺蘇生法）の研修を行いました

水に慣れることから始まる水泳の授業…水に触れること、潜ること、連続して泳ぐことを、1学期の間という短期間ではありますが、段階を踏んで学べたらいいと考えています。水への抵抗感をなくすこと、泳げるようになることは、自分や家族の命を守り救うことにもつながるとも言えます。水泳学習を楽しみにしている子どもは多いかと思いますが、危険も伴います。子どもたちとも、水泳学習の約束をきちんと確認し合って、この夏の水泳学習が、安全に展開できるようにしてほしいと願っています。その対策の一つとして、先生たちで緊急時の対応（心肺蘇生法）の研修を行いました。担任はもちろんですが、担任以外の先生方もプラス1の見守りの支援として水泳学習にかかわります。当日は、中央消防署からも



おいでいただき、AEDの使い方も含めた訓練の様子を見ながらアドバイスをいただきました。あつてはなりませんが、いざという時に子どもたちのかけがえのない生命を守るために適切な処置や行動がとれるようにしたいと、一人一人が演習を通して学びを深めました。

